

氏名 長谷川 康 貴

学位(専攻分野) 博 士(医 学)

学位授与番号 博 乙 第 2375 号

学位授与の日付 平成 4 年 3 月 28 日

学位授与の要件 博士の学位論文提出者

(学位規則第4条第2項該当)

学位論文題目 扁平上皮化生に伴う子宮頸部微細血管構築の変化

論文審査委員 教授 村上 宅郎 教授 赤木 忠厚 教授 岡田 茂

### 学 位 論 文 内 容 の 要 旨

鋳型走査電子顕微鏡法によって得られた血管像と、その周囲の組織像を比較することにより、子宮頸部の扁平上皮化生に伴う微細血管構築の一連の変化を明らかにする目的で本研究を行い、以下の結果を得た。

頸管内正常円柱上皮域及び子宮腔部円柱上皮域（転位帯）では、上皮直下に深さ3mm程度のcapillary plexusがあり、頸管腺に一致するcapillary networkの深い陥凹がみられるが、扁平上皮化生の進行に伴い、頸管腺は浅くなり、capillary plexusもその厚さを減じ、次第に扁平上皮域の血管構築、即ち比較的粗なmeshを持つ一層のcapillary networkへと変化していく。又、転位帯では、colposcopyでみられるgrape-like villusの中心血管に一致した突出血管群が、扁平上皮化生の進行に伴い、その高さを減じ、構成血管数も減少し、次第に一層のcapillary networkの中へ消褪していく。

### 論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究は鋳型走査電子顕微鏡法によって子宮の血管を調べたものであるが、従来不明であった子宮頸部の扁平上皮化生に伴う一連の微細血管構築の変化を解明したものとして価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は博士（医学）の学位を得る資格があると認める。